

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.20)

- ・ 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.20)による変更点をまとめたものです。 [13年10月1日リリース]
- ・ 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、13年10月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- ・ JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2013年10月1日
一般社団法人 日本自動車部品工業会
製品環境部会

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
記入帳票	1. 表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン、日付を更新しました。 ・改正の説明を追記しました。 	4ページ
	2. パスワード	<ul style="list-style-type: none"> ・記入帳票を開く際のパスワードを変更しました。 (パスワードは調査依頼元に確認してください。) 	(なし)
	3. 動作環境	<ul style="list-style-type: none"> ・JAMA/JAPIA統一データシートの不具合発生を回避するため、動作環境をWindows7/Excel2010対応としました。 	5ページ
	4. 部品・材料混在表現のチェック強化	<ul style="list-style-type: none"> ・部品と材料が同一階層にある場合、警告メッセージを表示するようにしました。 	5ページ
	5. 構成部品質量単位	<ul style="list-style-type: none"> ・構成部品質量単位を「g」のみとしました。 (構成部品質量単位欄は廃止し、「kg」は、使用不可) 	6ページ

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
外部 リスト	6. 材料リスト MAT	<ul style="list-style-type: none"> ・JISの改正を反映しました。 ・一部材料の材料名称および材料コードを変更しました。 	(なし)
	7. 化合物リスト IMDS_SUB	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDS BSLの変更内容(追加・修正・削除)を反映しました。 ・これに伴い、化合物名称(日本語)を見直しました。 ・REACHのSVHC(高懸念物質)のフラグを追加しました。(2013年6月20日追加分) ・GADSL改正(2013Version1.1)に合わせ修正しました。 	(なし)

JAMA/JAPIA統一データシート

Ver.2.20
2013年10月1日

< 変更点 >
バージョン、日付を更新
しました。

JAMA/JAPIA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

< 2013年10月1日 >

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.20)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2013 GADSL Version 1.1)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2013年6月20日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

< 変更点 >
改正内容を追記
しました。

< 2013年6月1日 >

- ・IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.18)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2013 GADSL Version 1.0)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2012年12月19日に追加されましたので、外部リストを更新しました。

< 2012年10月1日 >

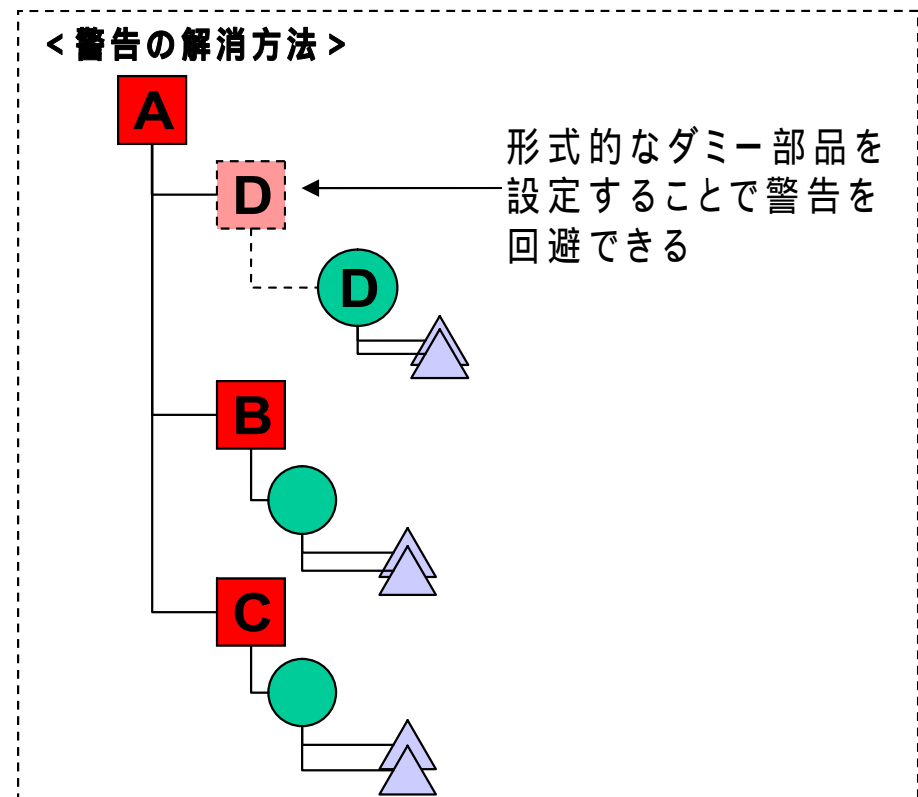
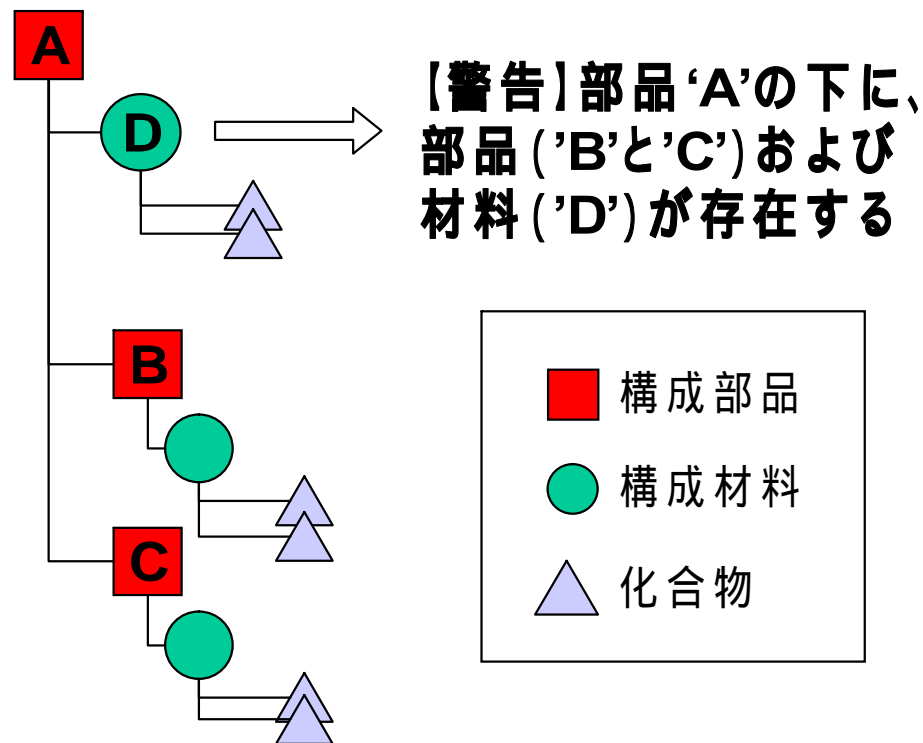
- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.17)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2012年6月18日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

(以下、省略)

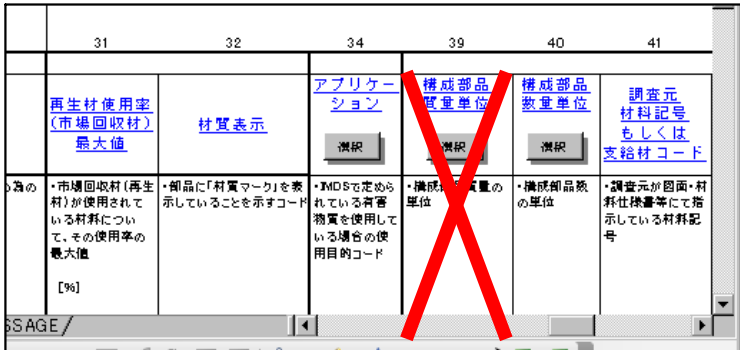
ユーザ会社におけるWindows7、EXCEL2010の導入が進んでいる実情から、Windows7、EXCEL2010(32bit)対応としました。(EXCEL2010(64bit)は非対応です)

4. 部品・材料混在表現のチェック強化

同一の親部品の1レベル下に異なるタイプの要素が存在する場合、警告とする。
(例)ある部品の下に部品と材料が存在する場合は、警告メッセージを表示するようにしました。

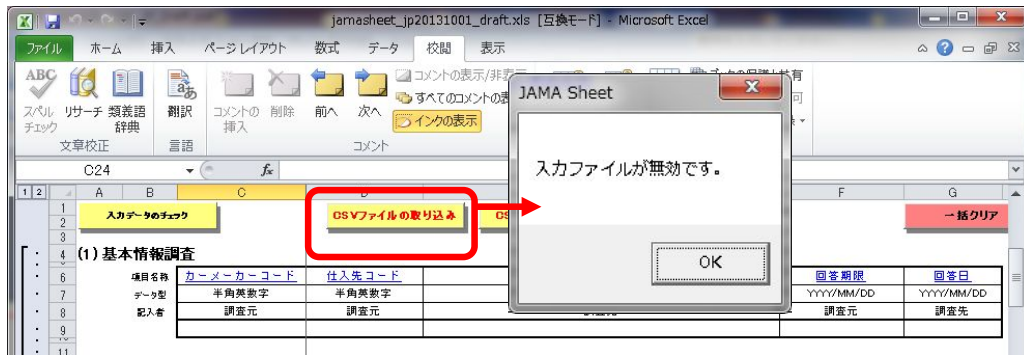


「納入部品質量」、「構成材料質量」に合わせ、「構成部品質量単位」を「g」に統一しました。
旧バージョンで「kg」を使っているCSVファイルについては、取り込み時にエラーとします。

変更前	変更後																
<p>構成部品質量単位：「g」または「kg」</p> <p style="text-align: center;">39</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">部工会オプション</p> <p style="text-align: center;">構成部品 質量単位</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="font-size: small;">構成部品質量単位の選択</p> <p style="font-size: x-small;">構成部品質量単位を選択してOKボタンを押して下さい。</p> <p><input checked="" type="radio"/> g</p> <p><input type="radio"/> kg</p> <p style="text-align: right;">OK キャンセル</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;"> 納入部品の質量単位：「g」 構成材料の質量単位：「g」 </p>	<p>構成部品の質量単位を非表示にし、選択できないようにする。（「g」に固定）</p> 																
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 50%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #ffcc99;"> <td>納入部品</td> <td style="text-align: center;">g</td> </tr> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td>構成部品</td> <td style="text-align: center;">g または kg</td> </tr> <tr style="background-color: #ccffcc;"> <td>構成材料</td> <td style="text-align: center;">g</td> </tr> </tbody> </table>		単位	納入部品	g	構成部品	g または kg	構成材料	g	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 50%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #ffcc99;"> <td>納入部品</td> <td style="text-align: center;">g</td> </tr> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td>構成部品</td> <td style="text-align: center;">g</td> </tr> <tr style="background-color: #ccffcc;"> <td>構成材料</td> <td style="text-align: center;">g</td> </tr> </tbody> </table>		単位	納入部品	g	構成部品	g	構成材料	g
	単位																
納入部品	g																
構成部品	g または kg																
構成材料	g																
	単位																
納入部品	g																
構成部品	g																
構成材料	g																
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 上位構成、下位構成とも「g」で固定のため「kg」は使う必要性なし。（間違いの元になる） </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 部品・材料とも質量単位を「g」で統一 </div>																

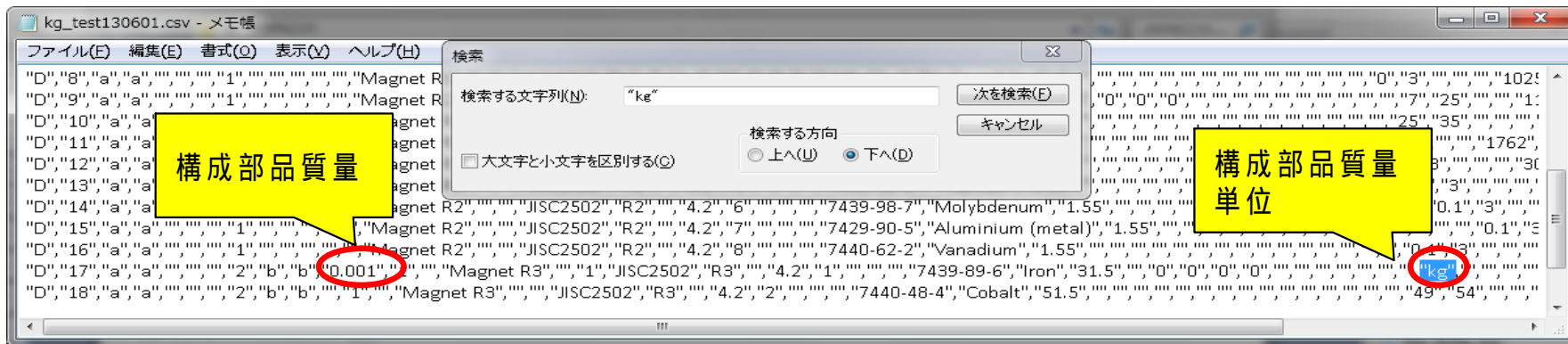
CSVファイル取り込み時にエラーが発生した場合の対応方法

(1) CSVファイルに「kg」の単位が使用されていると「CSVファイルの取り込み」を押下した際に下記エラーが発生します。



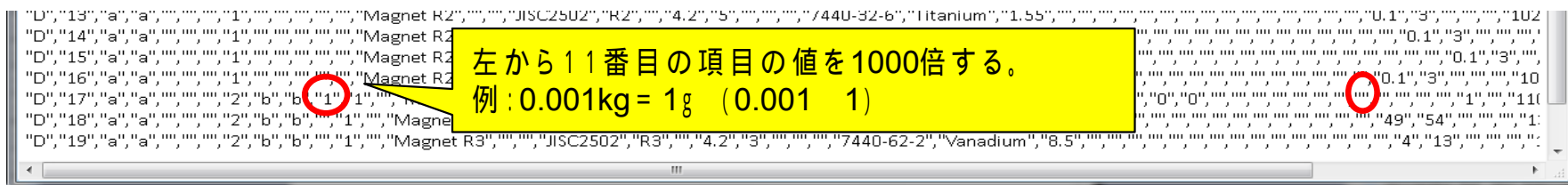
【注意】
このエラーメッセージは、フォーマットが正しくない場合の一般的なメッセージですので、他の要因によって発生している可能性もあります。
実際に“kg”を使用するケースは極めて低いため、エラーが発生しても手順(2)で該当箇所が見つからない(他の要因である)ことが通常です。

(2) CSVファイルをNotepadなどのテキストエディタ*にて、検索条件「kg」で検索して該当行を見つける。
*:このときエクセルは使用しないでください(エクセルに取り込むとデータが壊れます)



“kg”が1件も見つからない場合は他の要因を検討ください。

(3) 単位を「kg」「g」(「g」も可)に変更し、構成部品質量を換算する



(4) 全ての修正が終わりましたら、CSVファイルを保存して、再度入力帳票で「CSVファイルの取り込み」を実行してください。

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ず Ver.2.20の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.01 ~ Ver.2.18)は利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。(一部条件*で取り込み不可)

旧バージョン(Ver.2.01 ~ Ver.2.18)にて作成したCSVファイルでも取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しなどに伴い、エラーが発生する可能性があります。この場合データの修正が必要となります。

***:旧バージョンで構成部品質量単位に「kg」を使っているCSVファイルについては、互換性がないため取り込み前に「g」に修正が必要です。修正方法は7/8ページを参照ください。**